

理念は損得より善悪を優先。長崎市内で4店舗を営む現在もその理念を貫く。起業支援や障害者の就労支援も始めた。「正しいと思うことを続けることが共感を呼び、店の支持につながる」と経営方針も真つすくだ。大学卒業後、飲食チェーンなどで経験を積み、2004年に起業。09年に飲食店からパン屋に転換した。パン業界に入っ
て驚いたのが、安全性が疑問視される添加物が広

起業や就労を支援するパン屋 にししま 西島 なわたか 直孝さん



正しいことが共感呼ぶ

あの人
この人

く使われることと、起業を目指す人に教えてくれる場がないことだった。経営する「石窯工房A GRI」では無添加の生

地作りにこだわり、自信を持てる商品だけを提供する。2年前には起業支援も着手。製法から経営ノウハウ、レシピまで隠すことなく教えてきた。今年は念願だった障害者の就労支援も開始。今は2人雇い、近く5人に増やす計画だ。「パン作りの技を自立支援に生かしたい」と力を込める。同市新中川町在住。空手で国体に出場した経験も持つ。44歳。

(山里悠太郎)